

法 光

派 室 御 宗 真 言

清 蓮 山 森 泉 寺
〒710-1312
倉敷市真備町辻田二一六二

新聞「法光」は檀信徒の皆様が山
の活動をお知らせすると共に弘法
大師の御教えを分かりやすい言葉
でお伝えする目的で発行します。

龍翔萬年春



昭和五十八年より檀信徒の皆さまに仏
さま、お大師さまの教えや寺行事等お伝え
する目的で毎年一回発行してまいりまし
たこの法光新聞が今回で六十号となりま
した。

また現住職が森泉寺山主に着任して今
年で三十年、遷暦を迎える年ともなり、そ
の間檀信徒の皆さまには格別の「厚情」の
協力を賜り有り難く存じております。

草木の生い茂る山の古寺であったのが、
今は客殿、境内整備も成され、三十年前と
は見違えるほどになりました。訪れる方々
も「表参道の階段を上り山門をくぐる」とパ
ッと広い空が開けて、綺麗な庭が見えて気
持ちが良い「とか」「本堂や大悲殿の仏さま
の前に座ると心が安らぐ」との声もいた
ります。

これからもお寺が皆さまの心の拠り所、
憩いの場となるよう、また仏さまに親しく
ていただけるよう努めて参りたいと思っ
ております。

皆さまのご新年も良い年であります
よう心からお祈り申し上げます。 白筆

初観音厄除け祈願・撥遣供養

平成二十四年一月十八日(水)午前八時
ご本人に來山いただき、本堂で祈願の後、
木札を授与致します。

(申込締切：一月十日)

◎厄除けご希望の方は申込用紙にご記入
の上、お寺にお申し込みください。

◎当日ご本人の都合がつかない場合はご
希望の日時をお早めにご予約ください。

◎ご家庭に古い御札、御守、お飾りなどご
さいましたら、当日までにお寺にお持ち
いただき、本堂前の御祓箱にお納めくだ
さい。

【撥遣供養とは?】

当寺では本堂前に祭壇と炉を設け、古い
お飾りや御札をお焚き上げします。ご
の社社のものでも受け付けてはいますが、
本来はやはり授かったところに御札かた
がたお返しに参るのが本義です。

また、仏壇等に何年も前に授かった御札
が埃をかぶって祀られているのは粗末に
なりますので、お断りをしてお持ちくだ
さい。御札や御守はそのものが仏さまや
神さまの寄り代(魂の宿る所)です。一年
ごとに新しいものに変えるのが良いです。
願いが叶ったり、身代わりになって破壊
したりしたときも感謝の心で撥遣供養
する必要があります。

節分星祭り祈禱

平成二十四年二月三日(金)

本堂に北斗曼荼羅を懸け、供物壇を設け
て申込者の御札を一本、一本、各願望を祈
念し、修法致します。御札の準備もありま
すので、一月十八日(初観音)までに祈願料
を添え、お申し込みください。

彼岸会 水子供養

平成二十四年三月二十日

春のお彼岸の中日に本堂にてお勤めの
後、供物、経木塔婆を境内の水子地藏尊に
お供えし、ご供養致します。一緒に來世
の幸せな生縁を祈りましょう。

仏教の三大行事



◆仏生会 花祭り(四月八日)

お釈迦さまが誕生された日。

◆成道会(十一月八日)

お釈迦さまが悟りを開かれた日。

◆涅槃会(二月十五日)

お釈迦さまが入滅された日。

当山でもお釈迦さまにご法座をあげており、花
祭りには甘茶掛け。涅槃会の月の二月には客殿
に涅槃圖一幅を懸けてお祈り致します。

行事予定

平成二十三年

十二月三十一日(土)除夜の鐘(福引き接待)

(午後十一時五十分～午前一時半)

平成二十四年

一月十八日(水)初観音厄除け祈願(午前八時～)

撥遣供養(午前九時～)

総代会(午前十二時半～)

一月十九日(木) 写経会(午前九時半～)

一月二十二日(日) 写経会(午前八時～)

一月中 涅槃圖公開

二月三日(金) 節分星祭り祈禱

一月十八日(土) 観音会(午前八時～)

一月二十三日(木) 写経会(午前九時半～)

二月二十六日(日) 写経会(午前八時～)

二月十八日(日) 観音会(午前八時～)

三月二十日(火) 彼岸会水子供養(午前八時～)

三月二十二日(木) 写経会(午前九時半～)

三月二十五日(日) 写経会(午前八時～)

四月四日(水)六日(金)西国巡拝(近畿)

四月八日(日) 花祭り(甘茶接待終日)

四月十八日(水) 観音会(午前八時～)

四月二十八日(木) 写経会(午前九時半～)

四月二十八日(日) 写経会(午前八時～)

五月十八日(土) 観音会(午前八時～)

五月二十四日(木) 写経会(午前九時半～)

五月二十六日(日) 写経会(午前八時～)

六月十八日(月) 観音会(午前八時～)

六月二十一日(木) 写経会(午前九時半～)

六月二十三日(日) 写経会(午前八時～)

七月十八日(水) 観音会(午前八時～)

七月二十六日(木) 写経会(午前九時半～)

七月二十八日(日) 写経会(午前八時～)

※都合により変更をさせていただきます。

◆除夜の鐘...「家族皆々とお参りください。福引があります。(先着順)甘酒、ゆず湯もお接待してまいります。

子ども練成会 七月二十六日～二十七日

今回は町内外二十四名の参加で瞑想、写仏、灯籠作り、茶道体験など行いました。



～～～感想文の紹介～～～
初体験したごぼんさん修行

川辺小 六年 R.A

今日は初めて体験するごぼんさん修行に行きました。一番最初にめいそつをしました。始めてしたのでどんな事をするのか分からなかったのですが、とてもきんちょうじました。けどそれぞれの役割があつて楽しかったです。私はお花でした。このめいそつで、ふだん考えたり、思ったりしないことが分かったりしてとてもいいなと思いました。

一番目はとうろう作りをしました。とうろう作りは板の長さをはかりたり、切ったりしているときは簡単だったけれど、組み立ての時はすくなくすかしかつたです。

◆お寺の行事に参加してみた感想は「要望をお寄せください。今後の参考とさせていただきます。」

「ご飯が一番おいしかった料理はちらしずしとカレーライスです。他にもデザートが出たりもしました。サイダーにつけたトマトやスイカやパイナップルは少しだけ苦手だったけどこのこさず最後までがんばって食べました。

今日一番楽しかったことは花火です。花火は入浴する前にしました。いろいろな種類の花火でできて楽しかったです。

写仏も楽しかったです。私は絵をかいたりすることが好きなので良かったです。

最後の日はみんなともっと仲良くなってきたので良かったです。

施餓鬼法会勤修 八月十七日

猛暑の中、多くの檀信徒さまのお参りをいただき、東日本大震災物故者諸精霊を始め、阪神淡路大震災被災者、戦没諸英霊、各家先祖、有縁無縁三界万霊のご供養を致しました。

法話は、副任職修行の同期でもある、**本山布教師 眞際院御尊住 白井祐真僧正**を山口県よりお招きし、「お寺へ行く」と題してお話頂きました。

より身近な仏壇を見直し、綺麗に掃除を心掛けることで仏さま、ご先祖さまにしっかりと守っていただけること分かります。説明くださいました。



西国三十三観音十八本山参拝 十日早曾
高野山奥の院へお礼参り、大伽藍金堂にて結縁灌頂を受けました。その後、和歌山大阪方面の観音霊場を参加者十九名でお参りました。

結縁灌頂の儀式を振り返って

J.F. 七十八才 男性

十月にしては寒い日でしたが、同じく灌頂を受けようと集つた人々が大伽藍金堂の廊下に百人ほど。並んで順番を待つ間、僧侶の指示により「南無大師遍照金剛」とお唱えしてありました。その間、二十分くらいでしょうか。堂内から聞こえてくるのは真言「おんさんまやさとばん」と只それだけで、中では何が行われているのを知る由もありませんでした。

漸く僧侶が堂内へ案内してくださり、阿闍梨さまの前に座り、先ず戒を授かり暗闇の奥へと導かれました。暫く御宝言を唱え待っていると、さらに目隠しをされ、いよいよ何も見えない闇の中、僧侶に指先を少し持たれて先導されました。恐る恐る摺り足で「おんさんまやさとばん」の真言を唱えれば、雑念も払われ、次に目隠しを解かれ目を開きますと、今まで見たこともない曼荼羅世界。そして上を見上げると美しい天蓋があり、これが極楽浄土かと思いました。

更に奥に進むと最後の儀式。「阿闍梨さまの前で御仏のご縁が結ばれました。」と僧侶から声を掛けられ、前を見ますと口ウソク火だけの薄明かりの中で自身が映つた鏡を見せられ、阿闍梨さまから「このお顔はあなたが仏になったときの顔です。」と教えられてハッと驚きました。儀式も終わり阿闍梨さまを始め、多くの人々との出会い。これが一期一会かと思われ、また仏さまのご縁をいただき貴重な一刻を体験できましたこと、誠に有難うございました。

結縁灌頂とは？

お大師さまの時代から現代まで伝わる大法で貴重な儀式のひとつです。高野山では年々、五月(胎蔵界)と十月(金剛界)に開催されています。一言で申しますと「仏さまご自分の縁を堅く結びつける儀式」です。その内容は多くを語ることを許さず、たとえ聞いたとしても、その感動は体験した者でないとは分からないでしょう。

しかし、このように想像していただくこと少し理解できるかと思えます。暗い部屋の中で目を閉じると不安、恐れを感じ、また自身を強く意識すると思えます。そして明るい所で目を開くと、目下映るものが一層、色鮮やかに見えるのです。これは私たちが母体にいる時の感覚と似ていて、暗闇から産道を通り抜けて生まれた瞬間の光を表現していると言えます。そして生まれ変わった無垢の心に仏縁を結んでもらっているのです。



第6回 観月会 十月十二日(水)

天気にも恵まれ多くの人にお越し頂き、お抹茶のお接待や大正琴の演奏、Piano Trio「ピアノトリオ」によるバイオリン、チェロ、ピアノのコンサート、そして多数の趣味の作品等の展示をいただき、満月の月明かり以上に皆さまからエネルギーを買った気が致しました。

今回もお接待の品の準備や当日のお手伝い、作品展示にご協力くださった方々に心から感謝申し上げます。来年もまた宜しくお願いします。



写経奉納表彰者 (敬称略)

※百巻毎に記念品を贈呈しています。
六百巻達成 川田正幸(六一二巻)
五百巻達成 浅沼道子(五一一巻)
一百巻達成 山崎道雄(一〇三巻)
森宗美知子(一〇〇巻)
右、平成二十三年十一月末まで

◆毎月の観音会で生花を御供えくださる方、下座行(奉仕作業)してくださる方、いつも有難うございます。

本堂 幢幡及び天蓋新調

現住職入寺の際、出処である倉敷片島町の法蔵寺より古い幢幡と天蓋を頂き、以来堂内に安置しておりましたが、老朽化が激しく、人が通るたびに朽ちた端切れがハラハラと落ちていました。今年が写経三十周年の節目の年でもあり、写経の浄財を当て新調することを発願致しました。年が明けて本堂に安置する予定です。



身近な神仏(その一)

鳥枢沙羅明王(うすまきさらかみおう)

去年、『トイシの神さま』という歌が流行りましたが、トイシの仏さまとして知られるのが、このウスサマ明王です。憤怒形のお姿で、よく御札がトイシの壁などに貼られているのを見かけます。この仏さまが不浄を除くことを本誓(ねが)いとされているからです。清潔なトイシは気持ちよよいものです。また難産を救う仏としても靈験あらたかです。(お寺に御札がございます。)

御真言 オンクワンフワンシヤ



神仏のつながり

明治の神仏分離令によって殆どの社寺で一緒に祭りしていた神仏が分けられてしまいました。今なお、社寺をお参りしていると、時々お寺の中に鳥居があったり、神社の中に仏さまが祀られているところがあったりします。これは平安末期の神仏習合のなごりで本地垂迹説によるものです。

日本の神々は衆生を救済するためにこの世に現れた仮の姿(垂迹)で、本来は仏さまである(本地)という考えです。例を挙げると、

- 天照皇大神 〓 大日如来、観音菩薩
- 出雲大社 〓 勢至菩薩
- 八幡神 〓 阿彌陀如来
- 三寶荒神 〓 愛染明王、大日如来
- 春日大社 〓 不空縹索観音、釈迦如来
- 厳島神社 〓 十一面観音



なごさまさまで。人間と同じ二六道輪廻の現世に在るのが神さまですから、欲もあり、寿命もあり。速やかに願いを聞き、利益を与えてくれる一方、その性格によっては厳しい罰を与える神さまもいるので、一層、崇め、奉ることが要求されます。お祭りを盛大に賑やかにするのは願いを叶えてくれる神々に感謝の気持ちでもてなし喜ばせるために行うのです。

その他、国家安泰、仏法擁護の神として四天王とか仁王などの仏さまに近い性格で欲を離れた神さまは山門や本堂の中に祀られていますし、お寺の鎮守として境内にお祀りしている神さまもおられます。

神仏の融合によってごその光明が増します。また神社をお参りの際、二礼一拝、一礼が一礼が一般的ですが、四礼四拍掌、一礼の方が丁寧なようです。

近くの神社やお寺のルーツを辿ってみるのもいろいろな発見があり、興味深いものです。

西国三十三観音霊場巡拝と十八本山参りのご案内

平成二十四年四月四日(水)〜六日(金)

今回は近畿地方の古寺仏閣を巡ります。西国は観光名所も多く、桜の季節でもありますので、お誘い合わせの上、お申し込みください。

※日程並びに申込書は後日お配り致します。

森泉寺総代紹介 (〇内は就任年数)

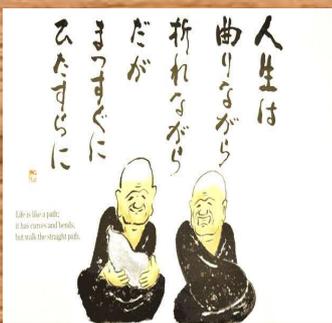
任期五年(平成二十三年〜平成二十八年)

- 総代長 堀口昌行 20
- 責任役員 瀬江頼生 6 山崎道雄 7
- 松田道夫 17

総代

- 辻田 笹岡正弘 11 堀口節雄 10
 - 高杉 正 6 高杉則夫 5
 - 阿部益久 4 佐野 悟 2
 - 佐野孝一 1 高杉信夫 1
 - 三宅 博 13 岡田仁志 6
 - 香川 馨 1
 - 下原 渋谷 巧 7 浅沼計臣 5
 - 川田正幸 5 川田一馬 1
 - 枝松 伸 1
 - 砂 古 浅沼勝己 1
 - 八代 羽井佐友海 1
- 以上、二十二名

伝導板



観音会 毎月十八日 朝八時より

観音さまのご縁日。朝のお勤めに参加してみませんか？普段は本堂の外からしかお参りできませんが、この日は堂内に上がっていただき、観音さまのお姿を前に三、四十分のお勤めをした後に法話をしています。

その後、時間に余裕のある方には下座行として境内の掃除をしております。

墓地お参り用具小屋完成

森泉寺裏墓地の東側の小屋が古くなり、屋根に穴が空いたり、柱が朽ちたりしてしまいましたので、八月末に改築致しました。暑い中、工事に尽力くださいました総代の皆さまに感謝申し上げます。道具類もお寺で揃えましたが、以後自由に使用ください。(西側小屋も同様) ※基本的に個人の道具は置かないようにお願いいたします。但し、お参りして他の方に使われても構わない方は置いてもらって結構です。



◎墓地西側の焼却場の利用マナーのお願い

以前から新聞、看板などで掲示していますが、燃やせないゴミは捨てないでください。プラスチック、ビニール、ペットボトル、缶ビン、陶器類、お花や御供物を包んでいるビニール等も各自で必ずお持ち帰りください。山内の環境保全にご協力をお願いします。

《御礼》森泉寺境内および周辺の掃除、美化にご奉仕くださる方々のごも有難く思います。

仏教のごとび(一)

お山開きが行われる行場では金剛杖を片手に修行者が「六根清浄お山は快楽」と唱えながら登っていく姿がみられます。六根とは肉体を表わす言葉で、般若心経にも出てきます「眼耳鼻舌身意」指し、「意」を除くと人間の五感「視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚」を生じる五官と重なります。この五官というのは仏教の「五根」から出たもので、「六根」が加わり「六根」になります。

山登りの時にこの言葉が用いられるのは、自然という修行の場に身を投じていることで身体、心が清められると考えられたからです。大自然の中から生じた自身も自然体に帰っていくという意味も込められています。

そして、「六根清浄」といって「六根」が少しくなり、立ち上がる時に「不意に出る汗」が少なくなるといわれます。意外なことにも仏教用語からいって「汗」は隠れているのです。

◆お香の功德・効能◆

お香は仏さまへの最上の供養です。自身をたゆまず燃やし続け、良い香りを放つことから「精進の徳を表します。さらに「香十徳」があり、以下の効能があります。

- 一、感覚が鬼神の如く研ぎ澄まされる
- 二、心身を清く浄化する
- 三、けがれをとり除く
- 四、よく眠気を覚ます
- 五、孤独感を拭く
- 六、忙しいうちも和ませる
- 七、多くあつても邪魔にならない
- 八、少なくとも十分香りを放つ
- 九、長い間保存しても朽ちない
- 十、常用しても無害



日々の生活の中で、良い香りを放つお香を焚く。そんなのめりを持ってほしいかがでしょう。

心への贈り物 PART II

くじけないで

柴田 トヨ

この本を知っているか
知らないかで、
人生が違うと思う

50万部突破!

メディアで大反響!!

ベストセラー監修 「スペシャルポストカード」をプレゼント!!

柴田トヨさんは息子さんの勧めで九十一歳から詩を作り始め、平成二十二年に白寿の記念に書きためた詩をまとめた「くじけないで」は百五十万部を超えるベストセラーになったそうです。その日常を綴った詩は現実を受け止めながらも「温かく、励まされるような作品」ばかりです。その中からひとつだけ紹介します。

貯金

私ね 人から
やさしさを貰ったら
心に貯金をしておくの
さびしくなった時は
それを引き出して
元気になる

あなたも 今から
積んでおきなさい
年金より
いいわよ

百歳になった記念に出版された「百歳も四十万部以上の人気です。興味のある方は本に触れてみてください。

平成二十四年度年忌表

一周忌	平成二十三年亡
三回忌	平成二十二年亡
七回忌	平成十八年亡
十三回忌	平成十二年亡
二十三回忌	平成二年亡
二十五回忌	昭和六十三年亡
三十三回忌	昭和五十五年亡
三十七回忌	昭和五十一年亡
五十回忌	昭和三十一年亡
七十回忌	昭和十一年亡
百回忌	大正二年亡

右表をご参照の上、年忌法事をお申し込みください。なお、土日、祝日ご希望の方はお早めにご連絡ください。

辰年生まれの守り本尊

おんさんまやさとばん

普賢菩薩 喝似嗟左筆

普賢は文殊と共に釈迦如来の脇侍として知られ、智慧、慈悲をつかさどり堅固な菩提心を持ち、その御利益は非障や悪因縁消滅にある。また、女人往生も説き、広く信仰を集める仏である。

